

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第11期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

【英訳名】 Human Metabolome Technologies, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菅野 隆二

【本店の所在の場所】 山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2

【電話番号】 (0235)-25-1447(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 村上 秀明

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八丁堀二丁目23番1号エンパイヤビル6階

【電話番号】 (03)-3551-2180(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 村上 秀明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第11期 第3四半期 連結累計期間	第10期
会計期間		自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	333,484	496,296
経常損失 ( )	(千円)	101,691	93,460
四半期(当期)純損失 ( )	(千円)	103,767	95,261
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	101,456	90,492
純資産額	(千円)	1,225,075	173,665
総資産額	(千円)	1,495,846	425,223
1株当たり四半期(当期) 純損失金額 ( )	(円)	26.53	24.52
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-
自己資本比率	(%)	81.9	40.8

回次		第11期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純損失金額 ( )	(円)	10.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。
4. 平成25年10月16日を効力発生日として1株につき300株の割合で株式分割を行っております。従いまして、第10期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純損失金額を算定しております。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、連結子会社Human Metabolome Technologies America, Inc.は、平成25年10月7日付で、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ケンブリッジ市から、同ボストン市へ移転しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生についての重要な変更等はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間末現在において当社が判断したものであります。なお、当社は、平成25年3月期第3四半期累計期間においては、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期との対比は記載していません。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気に対する不透明感が残るものの、円安や経済政策への期待感を背景に企業収益等が改善し、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社グループは顧客向けのセミナーやキャンペーンを継続的に行い、がん研究向けの新しい解析プランの販売や大うつ病性障害のバイオマーカーを活用した体外診断用医薬品の開発に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は333,484千円、営業損失は113,801千円、経常損失は101,691千円、四半期純損失は103,767千円となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

#### メタボローム解析事業

成長領域である医薬分野への営業資源を集中し、当社主催や学会でのセミナーを積極的に開催した他、レイトサマーセールやクリスマスキャンペーン等のキャンペーン活動を実施しました。また、がんエネルギー代謝用解析プラン「C-SCOPE」の販売活動も積極的に展開しました。この結果、売上高は266,747千円、セグメント利益は133,729千円となりました。

#### バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカー開発においては、体外診断用医薬品開発に向けて、酵素や抗体を用いた臨床検査法の開発を引き続き進め、抗体法開発に必要な提示抗原の合成に成功しました。また、既存の開発プロジェクトである糖尿病性腎症及び線維筋痛症のマーカー探索研究を進めるとともに、肝臓疾患のマーカーの開発計画や新規バイオマーカー導入の検討を行いました。この結果、売上高は9,375千円、セグメント損失は38,390千円となりました。

#### メタボロミクスキット事業

主に試薬や限外濾過フィルターの販売を行い、売上高は21,169千円、セグメント損失は1,493千円となりました。

#### 人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は36,452千円、セグメント利益は2,364千円となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,411,910千円となり、前連結会計年度末に比べ1,086,811千円増加しました。これは、公募増資により現金及び預金が1,125,390千円増加し、売掛金が57,454千円減少したこと等によります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は83,935千円となり、前連結会計年度末に比べ16,188千円減少しました。これは、工具、器具及び備品が5,578千円増加し、有形固定資産の減価償却累計額が25,363千円増加したこと等によるものです。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は194,244千円となり、前連結会計年度末に比べ41,396千円増加しました。これは、短期借入金が50,000千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が38,580千円、未払金が12,711千円、買掛金が2,837千円増加したこと等によるものです。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は76,527千円となり、前連結会計年度末に比べ22,182千円減少しました。これは、長期借入金が11,360千円、リース債務が10,717千円それぞれ減少したこと等によるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,225,075千円となり、前連結会計年度末に比べ1,051,409千円増加しました。これは、公募増資等により資本金が575,248千円、資本剰余金が575,113千円増加したこと等によるものです。

### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費は、65,786千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### (4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,919,500	5,167,000	東京証券取引所 (マザーズ市場)	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。単元株式数は100株であります。
計	4,919,500	5,167,000		

- (注) 1. 当社株式は、平成25年12月24日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。  
 2. 平成26年1月23日を払込期日とする第三者割当による増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が150,000株増加しております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月16日 (注)1	3,872,050	3,885,000		531,000		520,000
平成25年12月24日 (注)2	850,000	4,735,000	547,400	1,078,400	547,400	1,067,400
平成25年12月24日～ 平成25年12月31日 (注)3	184,500	4,919,500	27,848	1,106,248	27,713	1,095,113

(注)1．平成25年9月24日開催の取締役会決議により、平成25年10月16日付で1株を300株に分割いたしました。

## 2．有償一般募集(ブックビルディング方式による)

発行価格 1,400円

引受価額 1,288円

資本組入額 644円

## 3．新株予約権の行使による増加であります。

## 4．平成26年1月23日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が150,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ96,600千円増加しております。

発行価格 1,288円

資本組入額 644円

割当先 いちよし証券株式会社

## 5．平成26年1月1日から平成26年2月14日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が97,500株、資本金が12,306千円、資本準備金が12,225千円それぞれ増加しております。

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,919,500	49,195	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式			
発行済株式総数	4,919,500		
総株主の議決権		49,195	

## 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					



## 2 【役員 の 状 況】

前事業年度の定時株主総会終了後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりであります。

### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役会長		大滝 義博	平成25年9月9日
取締役		小林 一男	平成25年9月9日

### (2) 役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長	代表取締役社長兼 メタボローム解析事業部長	菅野 隆二	平成25年9月1日
取締役管理本部長	取締役管理本部長兼 人材派遣事業部長	村上 秀明	平成25年9月1日
取締役バイオマーカー・ 分子診断事業部長兼 研究開発本部長兼 メタボローム解析事業部長	取締役バイオマーカー・ 分子診断事業部長兼 研究開発本部長	大橋 由明	平成25年9月1日
取締役営業・マーケティング 本部長兼人材派遣事業部長	取締役営業・ マーケティング本部長	永嶋 淳	平成25年9月1日
取締役バイオマーカー・ 分子診断事業部長兼 研究開発本部長	取締役バイオマーカー・ 分子診断事業部長兼 研究開発本部長兼 メタボローム解析事業部長	大橋 由明	平成25年11月1日
取締役営業・マーケティング 本部長兼メタボローム解析事 業部長兼人材派遣事業部長	取締役営業・マーケティング 本部長兼人材派遣事業部長	永嶋 淳	平成25年11月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。当社は、第2四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日)については、四半期連結財務諸表を記載しておりません。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	202,168	1,327,559
売掛金	97,508	40,054
商品	2,380	5,100
仕掛品	1,107	12,790
原材料及び貯蔵品	6,985	9,311
その他	15,597	17,437
貸倒引当金	648	343
流動資産合計	325,099	1,411,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,270	16,550
工具、器具及び備品	141,480	147,058
リース資産	67,371	67,371
減価償却累計額	135,896	161,259
有形固定資産合計	87,225	69,721
無形固定資産	5,171	6,666
投資その他の資産	7,726	7,547
固定資産合計	100,123	83,935
資産合計	425,223	1,495,846
負債の部		
流動負債		
買掛金	20	2,857
短期借入金	60,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	18,460	57,040
リース債務	13,969	14,244
未払金	29,452	42,164
未払法人税等	3,220	4,640
その他	27,724	63,296
流動負債合計	152,848	194,244
固定負債		
長期借入金	48,500	37,140
リース債務	37,580	26,862
繰延税金負債	1,140	990
資産除去債務	11,035	11,129
その他	453	404
固定負債合計	98,709	76,527
負債合計	251,557	270,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,000	1,106,248
新株式申込証拠金	-	2,505
資本剰余金	520,000	1,095,113
利益剰余金	882,103	985,871
株主資本合計	168,896	1,217,995
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,769	7,079
その他の包括利益累計額合計	4,769	7,079
純資産合計	173,665	1,225,075
負債純資産合計	425,223	1,495,846

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	333,484
売上原価	131,501
売上総利益	201,982
販売費及び一般管理費	315,783
営業損失( )	113,801
営業外収益	
受取利息	16
補助金収入	25,816
その他	1,284
営業外収益合計	27,117
営業外費用	
支払利息	2,266
株式交付費	12,741
営業外費用合計	15,007
経常損失( )	101,691
税金等調整前四半期純損失( )	101,691
法人税、住民税及び事業税	2,225
法人税等調整額	149
法人税等合計	2,076
少数株主損益調整前四半期純損失( )	103,767
四半期純損失( )	103,767

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	103,767
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2,310
その他の包括利益合計	2,310
四半期包括利益	101,456
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	101,456
少数株主に係る四半期包括利益	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	26,889千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

平成25年12月23日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行850,000株(発行価格1,400円、引受価額1,288円、資本組入額644円)により資本金及び資本準備金がそれぞれ547,400千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により、当第3四半期連結会計期間において資本金が27,848千円、資本剰余金が27,713千円増加し、この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,106,248千円、資本剰余金が1,095,113千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	メタボロミクス キット事業	人材派遣事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	266,487	9,375	21,169	36,452	333,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	259	-	-	-	259
計	266,747	9,375	21,169	36,452	333,744
セグメント利益又は損失 ( )	133,729	38,390	1,493	2,364	96,209

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主要内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	333,744
セグメント間取引消去	259
四半期連結損益計算書の売上高	333,484

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	96,209
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	210,008
四半期連結損益計算書の営業損失( )	113,801

(注) セグメント利益の全社費用 210,008千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用  
  であります。



## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額( )	26円53銭
(算定上の基礎)	
四半期純損失金額( )(千円)	103,767
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	103,767
普通株式の期中平均株式数(株)	3,910,398
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

2. 当社は、平成25年10月16日付で株式1株につき300株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

## (重要な後発事象)

1. 第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)

当社は、平成25年11月22日及び平成25年12月4日開催の取締役会決議において、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年1月23日に払込みが完了いたしました。

(1) 発行株式の種類及び数	当社普通株式 150,000株
(2) 割当価格	1株につき1,288円
(3) 払込金額	1株につき1,105円(会社法上の払込金額)
(4) 資本組入額	1株につき644円
(5) 割当価格の総額	193,200千円
(6) 資本組入額の総額	96,600千円
(7) 払込期日	平成26年1月23日
(8) 割当先	いちよし証券株式会社
(9) 資金使途	メタボローム解析事業等の質量分析計等の設備資金、連結子会社における運転資金のための融資並びにバイオマーカー事業における研究開発費に充当する計画であります。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月13日

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 片岡久依 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 勢志元 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成25年11月22日及び平成25年12月4日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年1月23日に払込みが完了している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。